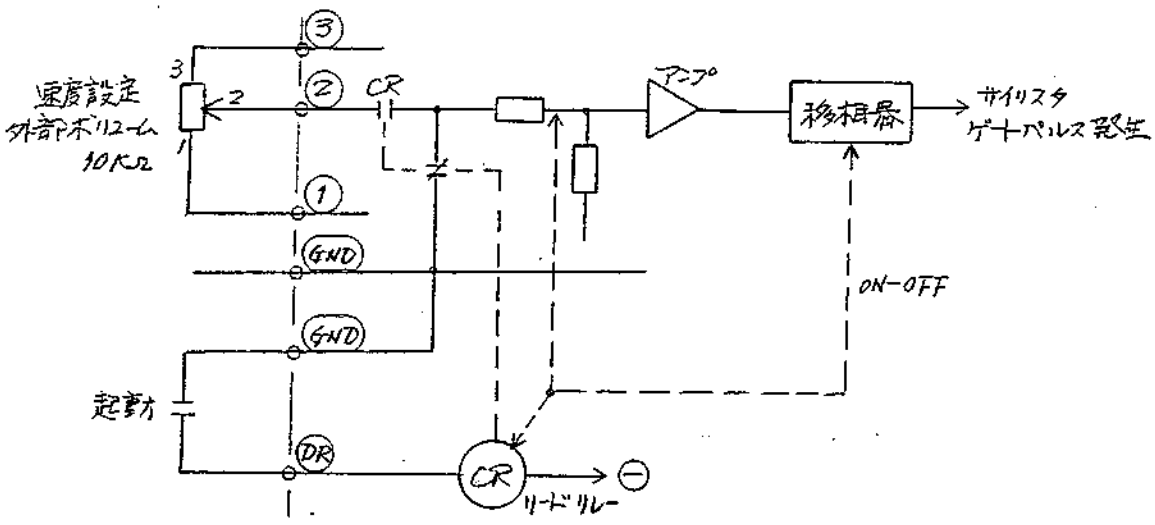
2、動　作

2－1　起　動

起動は(ＤＲ－ＧＮＤ)間をＯＮすることにより行ない、動作状態となります。速度は設定ボリュームで定まる回転となります。

停止は(ＤＲ－ＧＮＤ)間をＯＦＦすると装置が停止状態となります。

又、起動ＤＲがＯＮすると発行ダイオードのＤＲが点灯します。



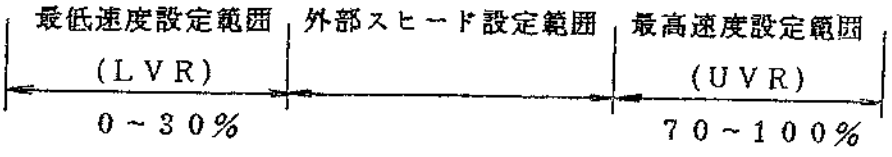
(ＯＦＦ状態は内部のリードリレーをＯＦＦし、入力速度設定を零とすると共に移相器を停止させゲートパルスをＯＦＦします。)

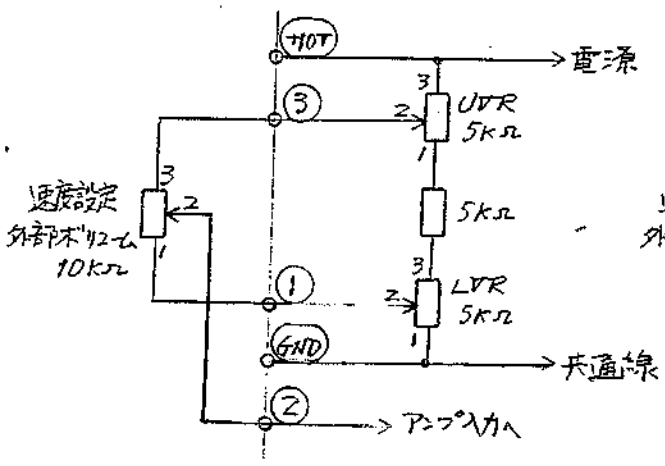
2－2　速度設定

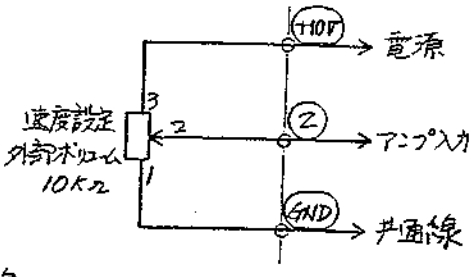
速度は外部ボリュームで設定されますが、外部ボリューム設定範囲は装置内ボリュームＵＶＲ,ＬＶＲで調整可能です。

上限用ボリューム(ＵＶＲ)になり定格速度の１００～７０％の範囲に設定できます。

下限用ボリューム(ＬＶＲ)により定格速度の３０～０％に設定できます。







ＵＶＲおよびＬＶＲは上図のように接続されているためＵＶＲ，ＬＶＲに無関係に速度範囲を設定するためには端子(ＧＮＤ，２，＋１０Ｖ)を使用します。＋１０Ｖからの電源容量は８㎃Ａです。ＬＶＲ，ＵＶＲは１／２Ｗです。

２－３　過負荷保護回路

モータが過負荷(定格の約１２０％以上)の状態で１０数秒以上断続して運転された場合、保護回路が動作し制御装置は全停止状態になります。そのため起動はできません。

この保護回路のリセットは電源を遮断することでできます。

又、この保護回路が動作した時は、発光ダイオードのＯＬが点灯します。

２－４　電源表示

制御回路に電源が供給されている時、発光ダイオードＰＷが点灯します。

２－５　制御回路とパワー回路は、内部で一線共通になっており、商用電源と絶縁されていません。入力指令電圧、起動信号などは大地又は、商用電源と切り離された(絶縁)信号としてください。

端子ＧＮＤが内部のコモンラインになっています。

3、保　守

3－1．モータのカーボンブラシは、起動・停止の頻度、負荷状態により多少寿命の差がありますが、約５０００時間です。
使用状況により当初の３箇月間運転後にブラシのへりを測定し寿命を算出して、ブラシ交換時期を考慮して下さい。

3－2　周囲温度は、０～４０℃の範囲で使用し、湿気の多い所での使用はさけて下さい。

3－3　装置およびモータの周囲は、通風の妨げにならないように配置し、装置は垂直から３０°以内に取り付けて下さい。
モータの取り付けは指定のない限り、軸横向き又は、軸下向きで使用して下さい。

3－4　ヒューズ容量

装置型式	ヒューズ　F1,F2	ヒューズ　F3
NPF－05／10 NPF－10／40	ガラス管ヒューズ　5A ガラス管ヒューズ　10A	―――
NPF－80,150	BLCO23－1 23A 富士電機 (スーパーラヒット)	ガラス管ヒューズ 3A

3－5　各　電　圧

装置型式	モータ容量	モータ電圧(A,H)	指令電圧	電源容量
NPF－05／10	50W	DC70V	0～10V	100W
	100W			200W
NPF－10／40	100W	DC130V	0～10V	200W
	200W			400W
	400W			800W
NPF－80	800W	DC130／140V　MAX		2.3KVA
NPF－150	15KW	DC130／140V　MAX		3.75KVA

4、取り付け

取り付け付属ビス(M4－25㎜)を使用師、４箇所取り付けます。